

備前市事務事業評価表

事務事業名	適応種支援事業	コード	04-02-03-01
		担当課・係	商工観光課企業誘致係
		担当者	草加道也
事業実施期間	平成2年度	電話	64-1848
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり	
	小項目(施策)	工業	

事業について	
目的 (何のために)	耐火物・備前焼などの地場産業や伝統産業のもつ高度な技術を生かした新しい工業を振興するため、岡山セラミックスセンターの機能を活用して異業種間や関係業種間におけるシステム化の推進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	地場企業、地場企業従事者
内容	岡山セラミックスセンターの機能を活用して異業種間や関係業種間におけるシステム化の推進を図るため、補助金を交付する。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助金交付団体	1 団体	1 団体	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	7,634	間接補助金等		直接事業費	7,267	間接補助金等				
	人件費	840	受益者負担		人件費	501	受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	8,474	一般財源等	8,474	合計	7,768	一般財源等	7,768	合計	0	一般財源等	0

結果指標	必要人員	0.14 人	0.05 人	
	結果指標名	事業実施数	事業実施数	
	結果指標量	7	6	
	単位	事業	事業	
	対前年比	-	85.71%	0.00%
	活動にかかるコスト	8,474,000 円	7,768,000 円	
	単位当たりコスト	1,210,571 円	1,294,666 円	
結果指標	結果指標名	研究実施件数	研究実施件数	
	結果指標量	2	3	
	単位	件	件	
	対前年比	-	150.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	8,474,000 円	7,768,000 円	
	単位当たりコスト	4,237,000 円	2,589,333 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	市内企業の技術力向上により、産業が活性化し、雇用の拡大を図る。		
成果指標名	研究実施件数	式又は説明	1件以上
	17年度	18年度	
成果指標量	2	3	
対前年比	-	150.00%	0.00%
到達目標値	なし	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	岡山セラミックスセンターの活動状況を把握する必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	補助金の交付額算出を厳格に行い、支出している。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	補助金の交付に対する影響度は把握しにくい。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明		
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了			
引続き補助金を交付している。				
目標値	結果指標量	1以上	結果指標量	1以上

総合評価	補助金交付による商工業への影響はあると考えられるため、今後も継続していく。	評価区分 <A~E> C
------	---------------------------------------	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	センターの事業活動の周知と活用	20年度	耐火物業界の技術力、競争力の向上が図れる。